



第26回 野中の清水

2026 3/26

いにしえの

野中の清水

ぬるけれど

元の心を

知る人ぞ汲む

いにしえの

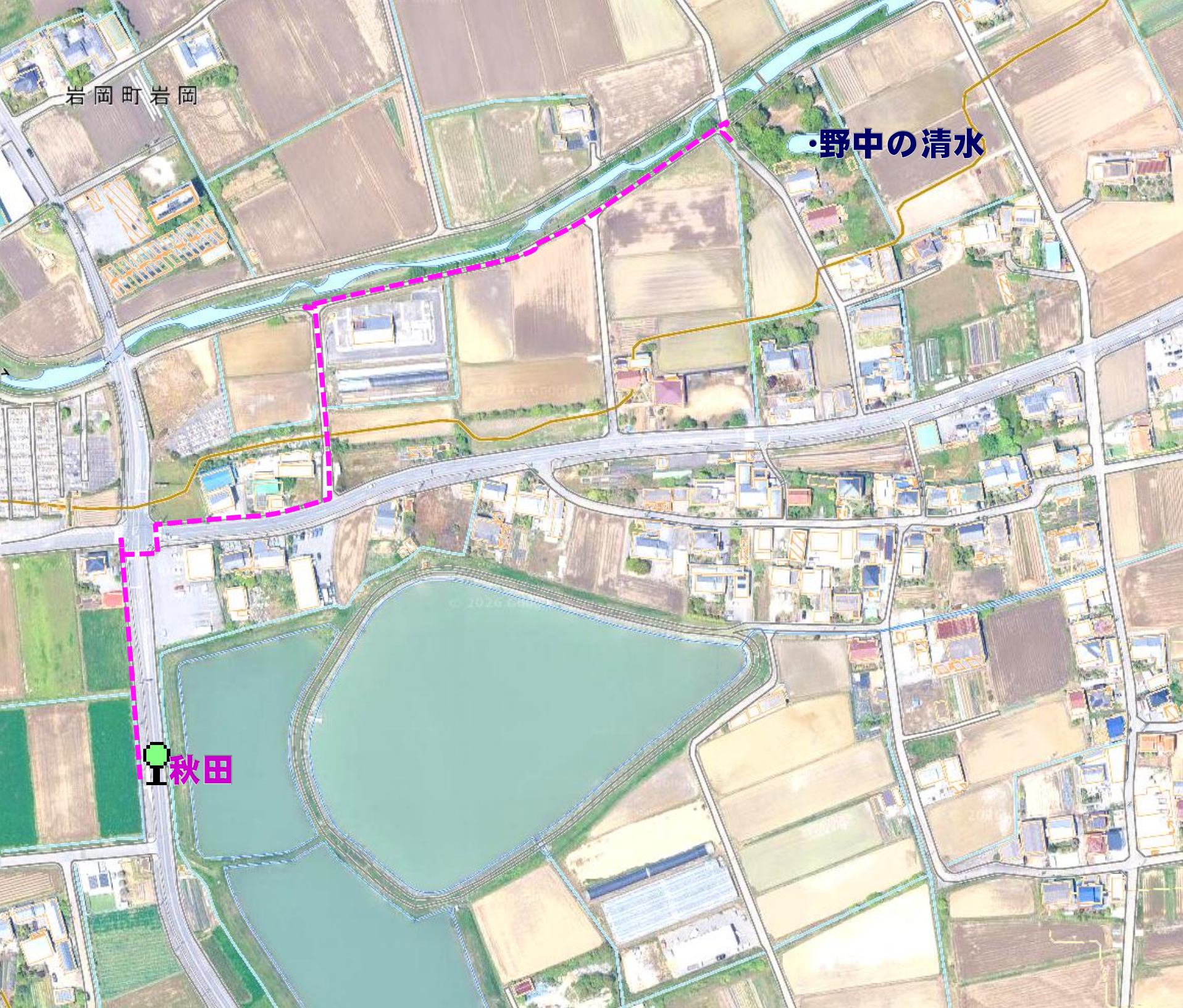
野中の清水

ぬるけれど

元の心を

知る人ぞ汲む

古今和歌集



岩岡町岩岡

・野中の清水

今回は、
あまり歩けない人でも
参加可能な計画と
しました。

くすのき公園集合
ここから高丘西口[●]まで
約800m歩き
高丘西口[●]から
秋田[●]までバスに乗り
野中の清水まで
500m歩きます



**みなさんの
歩きが
予想より速く
しばらくの
バス待ちです。**



やっと
バスが
来ました。
ほぼ
定刻です。

高丘から
歩いて約5kmの
場所にある
野中の清水
でも
往きには
バスを
使いました

・くすのき公園

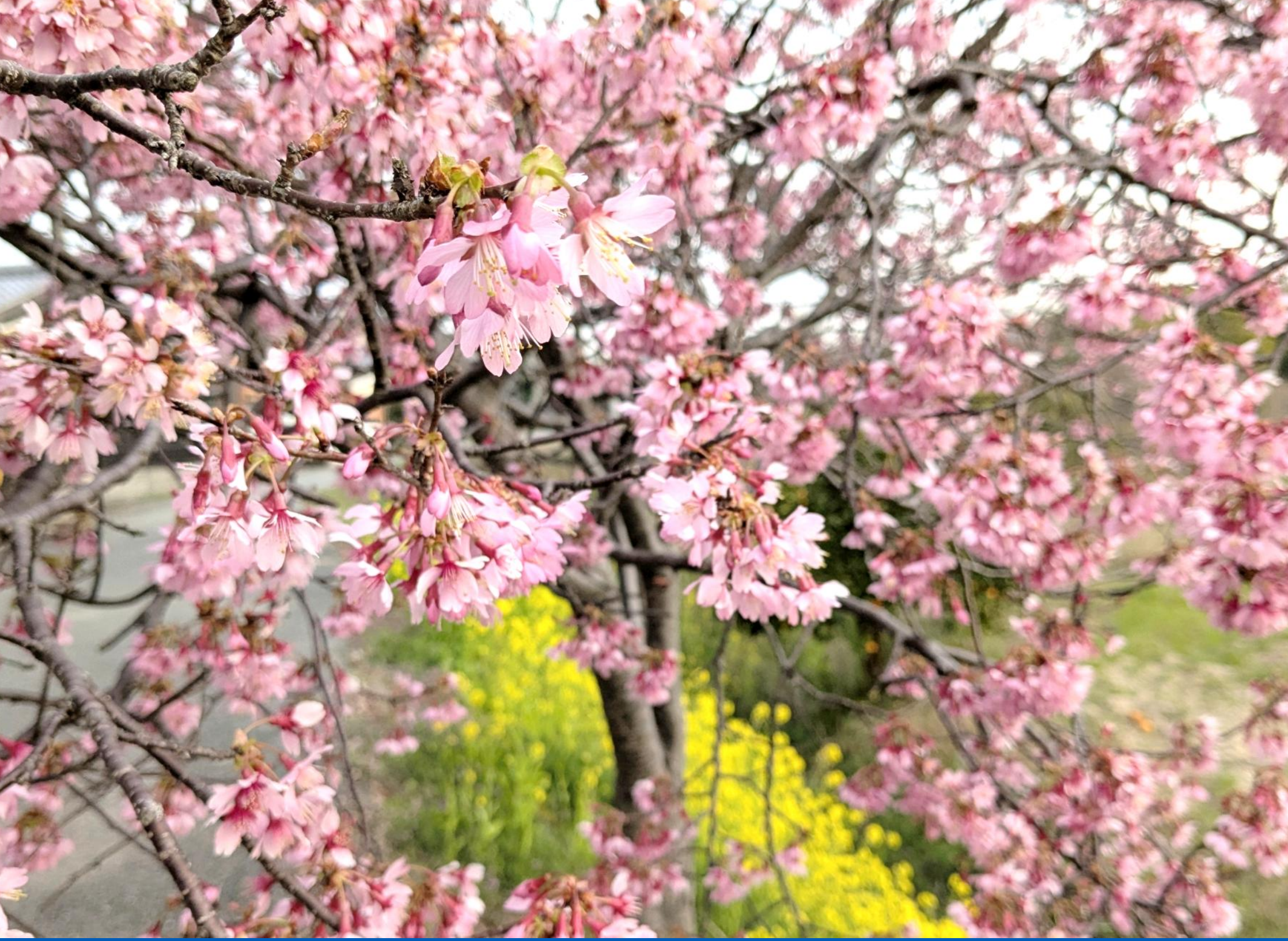


秋田で下車

近くの
コンビニで
昼食も
買いました



**川の土手には
早咲きの桜が
ちらほら
咲いていました。
「陽光」という
品種の桜かな**



**公園の
横には
早咲きの
「おかめ桜」が
咲いていました**

**これは
珍しい桜です。**



記念として
写真に
収めました



記念として
写真に
収めました



菜の花も
きれいですね



桜の季節には
まだ早いので
いっぱい
撮りました



ほぼ
満開に
近い
「オカザクラ」
も
写真に
収めました



花見には
早いのか
公園は
貸し切り
状態でした

野中清水浚渌記

野中清水我國五清水之一也名高千古
焉蓋上古此地一帶曠漠曰松丘野其中
有小村曰野中下村乾位有一小池其形
如琵琶水光清瑩然見底飲之如飲水
此乃野中清水也特以名勝著仁德帝都
難波汲以供御膳泰下丸得病亦飲此水
以癒蓋天下無比類也後鳥羽上皇有御
製稱之而元輔俊成定家僧西行等亦詠
和歌美之林春齋林常春人見友竹梁田
蛻巖諸儒亦各賦詩傳之有謠曲焉有狂
言曲焉名因茲高蓋歷歲已千有餘年土
石埋池水色將濁有志歎之今茲
今上天皇陛下卽位有志齊議浚渌之且
植樹以爲大禮之記念卽僅得存焉觀也
因是石記其事希後世思古者勿埋滅沒
迹則幸矣

大正四年十一月

岡部史太郎識

大正天皇の
即位記念に
あわせ
池を浚渌
した旨の
石碑である

野中の清水

いにしへの野中清水ぬるけれど
もとのころを 知る人ぞくむ

古今和歌集

野中清水は我が国の五清水の一つである野中下村という小村に在り琵琶の形に似て永は澄きり仁徳帝のときこの水で難病を癒やしたという千年の歳月が過ぎ土石に埋もれていたもの大正天皇即位の年に岩岡郷土の先達より久しく放蕩し後世にいにしえを伝える

「野中清水放蕩記」碑より

平成八年

野中の清水の復元工事が完成する

（昔の湧水を汲み上げいにしえの清水を再現）

平成九年

神戸市地域史跡に認定された

「いにしえの名水に手を触れて下さい」
（この水は飲み水ではありませんけして飲まないで下さい）

平成十七年十二月

野中の清水を守る会

（野中自治会地域住民ボランティア）



羊羹は「大中小」にて分配

野点を
楽しむ

風流な場所
そして
和歌山の
駿河屋で
求めた

羊羹を
持参した
ので
お茶会を
楽しむ
ことに





白湯は
・久保さん
・池上さん
・早柏さん
に
運んで
もらった
のだけど
肝腎の
「抹茶」が
無い!!
家に
置き忘れた
のだ

よって、抹茶なしの白湯だけいただくことに



茶椀は人数分持ってきたのに...

失敗も亦た楽し……である

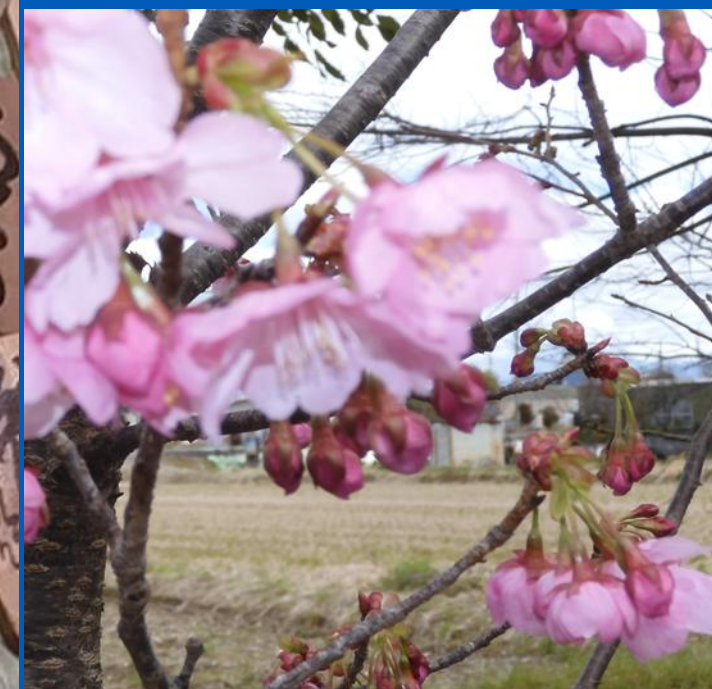


白湯だけでも、おいしそうに啜っている人もおられます。その気持ちに感謝!!



昼食の後

野外なので
北海道の木札の
「百人一首」で
遊びました



公園に咲く「陽光」



**帰りのバスの
時刻が近づいて
来たので**

**以降は
バス班と
徒歩班に
別れて行動します**

**とにかく
記念撮影を!!**





バス班
との
別れ



徒歩班

自称：健脚組の

その後の

記録です。

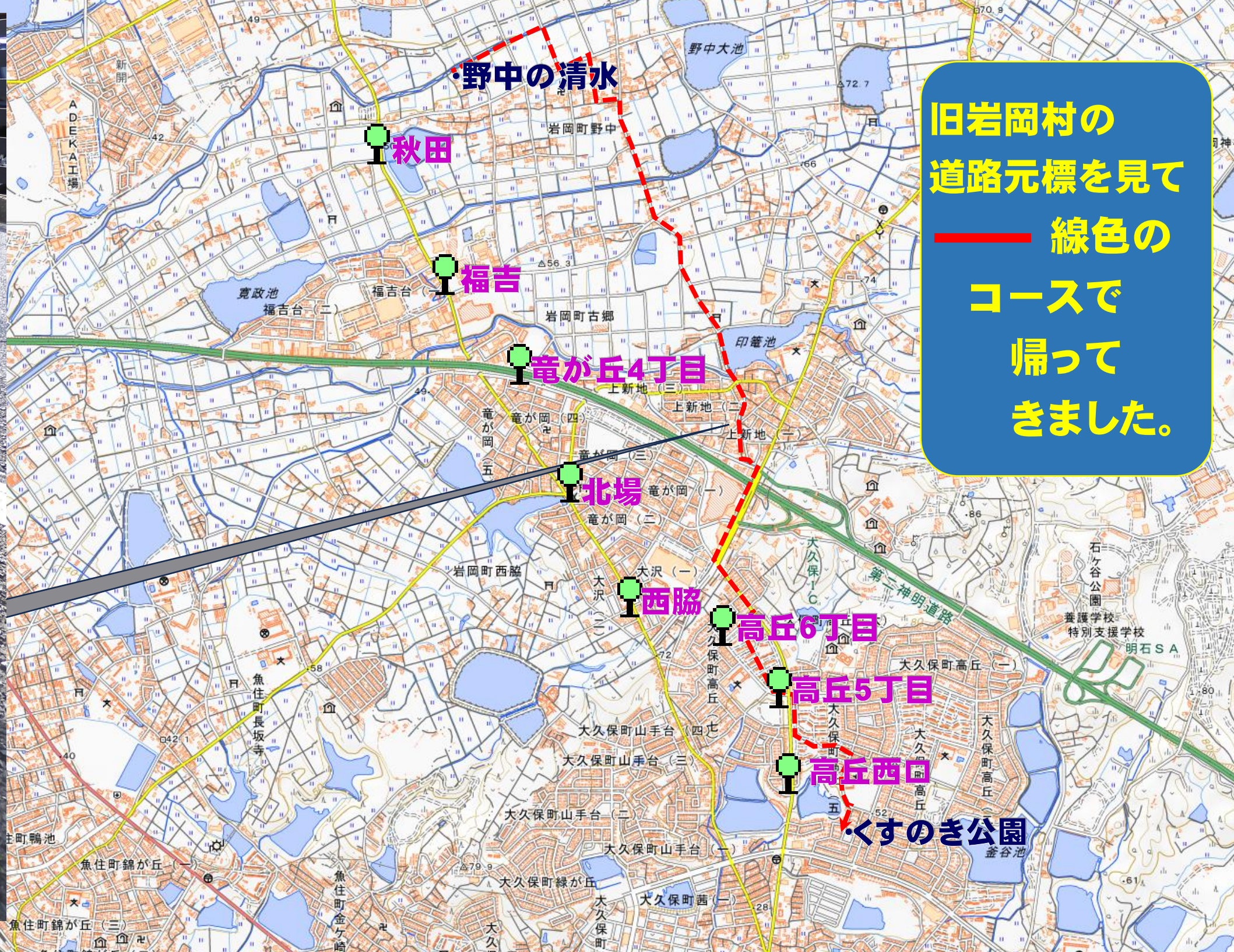


徒歩班
その後の
記録です。

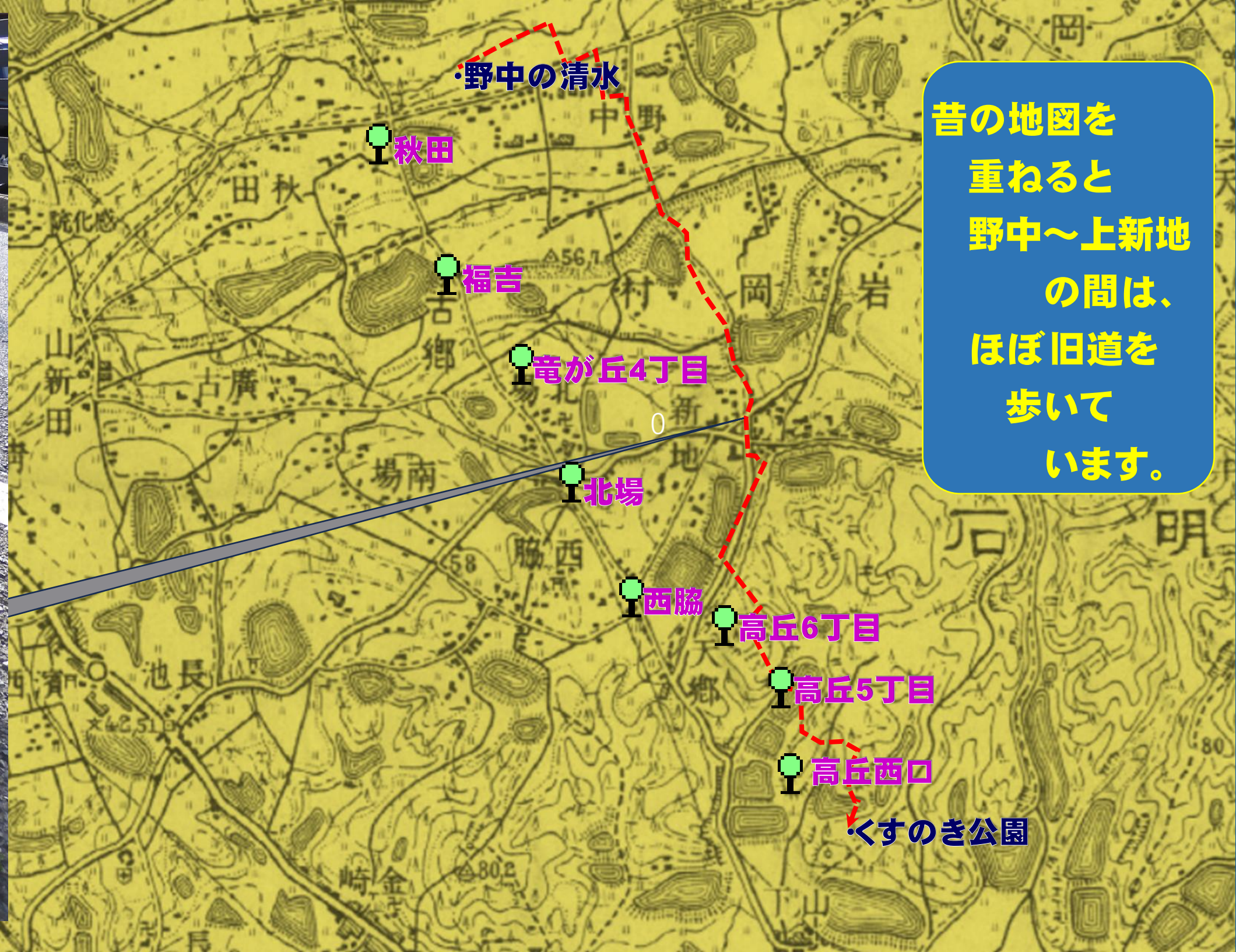
高丘までは
やや遠い。
よって、

トイレのため
近くの
こだわりの
ビーガン
料理店へ





旧岩岡村の
道路元標を見て
線色の
コースで
帰って
きました。



昔の地図を
重ねると
野中～上新地
の間は、
ほぼ旧道を
歩いて
います。



・野中の清水

秋田

福吉

竜が丘4丁目

北場

西脇

高丘6丁目

高丘5丁目

高丘西口

・くすのき公園

高丘中学校の
早咲きの
オオシマザクラが
ちょうど見ごろ
だったが、
随分と
剪定されていた。
今年、この桜が
目だたないのは
こんな理由
からかな。



徒歩班
その後の記録
道路元標を
見ってから
バスに
乗りたい
という人は
皆無。
結局、
撮影者を含む
6名全員が
高丘まで歩いた。

第26回 野中の清水

2026 3/26

おしまい